

専門家の力も借りる

アドバイザー派遣制度の積極活用

会えると思わずうれしくなるような、ゆるキャラを……



どうにも殺風景な商店街という感じがするんですが……

なにか、街のイメージを牽引できるゆるキャラを作りますか!

プロの目から見てわかる商店街のこと。

ある商店街の例から

観音通り共栄会 酒井 和夫 会長

平成22年度より中小企業診断士にアドバイザーをお願いしました。イベントのマンネリ化などに悩んでいましたが、商店街の強み・弱みを分析するなどして検討を重ねた結果、商店街のシンボルである「観音様」をモチーフにしたキャラクターを製作しようと決めました。キャラクタービジネスの専門家にも相談し、キャラクターを作るにあたっては、「作っても使われないと意味がない。絶対に「着ぐるみ」が必要だ」といった経験に基づいたアドバイスを受けました。その後、誕生した「カノンちゃん」は、今では商店街だけでなく、メディア出演やイベントなどにひっぱりだこになり、商店街のPRにつながっています。



課題

- 商店街の複雑な課題に対して、どこから手を付けていいかわからない。
- 同じメンバーで話し合いを続けているため、新しいアイデアも生まれない。

これが大切

商店街活動の参加者数が低下している中、限られたメンバーだけで課題を解決するには、限界があります。大田区では、商店街に中小企業診断士や会計士などの専門家を派遣する制度があります。費用負担なしで、専門家のアドバイスを受けることができますので、ぜひ積極的に活用してください。

これから始める

専門家は頼りになるパートナー

1 気軽に相談してみる

「こんなささいなことを専門家に聞いてもいいのだろうか？」困ったことがあっても、専門家を依頼することに躊躇していませんか？ 専門家だからといって難しい話をしなければならないという訳ではありません。商店街の状況に合わせてアドバイスをしてもらえるので、気軽に相談できるパートナーと思って活用してください。もちろん、大田区の産業振興課にもお気軽においでください。

専門家によるアドバイスが受けられる制度は、大田区だけでなく、東京都や国などにもあります。制度によって利用できる条件や費用などが異なります。商店街の課題や実施したいテーマなどの状況に応じて利用することができます。

2 まずは商店街の現状把握から

商店街を活性化したいけれど、どこから、どのように手を付ければいいのかかわからない、といった商店街も多いのではないのでしょうか。そのようなときこそ、専門家の力を借りてみてください。まずは専門家に商店街の視察をしてもらいましょう。専門家は、商店街を客観的に見て商店街の方からお話を聞き、現状を把握・分析します。そこから一緒に商店街の方向性について考えていくこともできます。

専門家派遣は、商店街に対するものだけではありません。個店の集客や宣伝方法、内装・外装のデザイン、財務・資金調達など店舗経営に関わる支援もあります。ひとつひとつの店舗の売上げ・集客力のアップが、商店街の活気となりますので積極的に活用してください。

3 たとえば、こんな使い方

下に例示したように、1～3回の完結型で支援を受けることもできます。目的が明確であれば、専門家も対応しやすいですし、商店街側もあまり負担を感じずに取り組むことができます。

例

<3回で完結>

今のイベントを少しでも改善したい!

- 第1回目: 中小企業診断士が商店街を視察して状況を確認
- 第2回目: 中小企業診断士がイベントに参加してチェック
- 第3回目: 中小企業診断士が視察レポートを作成 商店街で改善策を話し合う

例

<2回で完結>

会計の仕方を見直したい!

- 第1回目: 会計士に収支管理の仕方を指導してもらう
- 第2回目: 会計士と一緒に、決算書を作ってみる

例

<1回で完結>

店主を集めた勉強会

- 効果的なPOPやチラシの作り方
- ホームページやFacebookなどの活用の仕方
- 最新のイベントや商店街事業についてなど

利用できる制度

- 再生支援事業 [大田区]
- 大田区新・元気を出せ! 商店街事業
- 商店街パワーアップ作戦 [東京都]